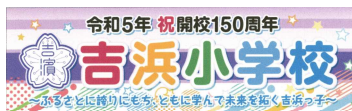


花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年3月1日 No.96

おめでとうございます

令和5年度第41回福祉体験作文コンクールが行われ、本校5年の具志堅麻緒さんの作文が入選作品に選出されました。応募総数319作品のうち21作品の選出です。おめでとうございます。

◇福祉体験作文コンクール

愛知県社会福祉協議会により昭和58年から実施しています。

児童・生徒が、学校内外で体験する福祉活動やボランティア活動は自己の幅を広げるための豊かな経験となるものであり、ともに生きる福祉の心を育ててくれるものです。こうした経験を通して感じたことや考えたことを、素直な気持ちで作文に表わしたものが心に残り、日常生活の中で広がっていくことを期待して、毎年、市町村社会福祉協議会を通福祉体験作文を募集しています。

<募集要項より>

令和5年度第41回福祉体験作文コンクール入選作品

人助け

高浜市立吉浜小学校
5年 具志堅 麻緒

この話は、私がちやうど四年生のころの出来事です。私がある困っている人を助けようとしたときの考えや思い、その後自分がどう変わったか、私が友達を送ることにしました。友達は近くの公園に送り、私が帰ろうとしていたとき、帰りの道に歩いている人がいました。その人は、目が見えない人でした。私は、実際そのような人をあまり見たことがなかったもので、少し気になってしまいました。ですが、見ていると、その人は困っているように見えませんでした。同じ道を何度も行き来して、私は少し心配になってしまいました。なぜなら、そこには目が見えない人が使う点字ブロックがなかったり、車も通るような場所だったからです。ですが、声をかけてしまったり逆にびっくりさせて危ないのではないのかと思いました。でも、学校で学んだことを思い出し、考えてみました。色々考えて私はその人に声をかけることにしました。そして私はその人に「あの大丈夫ですか。」と、びっくりさせないように聞きました。その人は、びっくりせず、ていねいに「すみません。この道あまり使ったことがなくて。」と、申し訳なさそうに言いました。私はそうなんだと思い、「どこに行きたいんですか。」と聞いたら、私さつき友達を送って行った公園に行きたいと言いました。私はその人と一緒にその公園まで少しお話ししながら行きました。公園に着いて私が「この公園でいいですか。」と聞くと、その人は、「はい、大丈夫です。いい人ですね。ありがとうございます。声をかけてくれて感謝しています。」と、言ってくれました。そのとき私は、勇気を出して声をかけて本当に良かったと思えました。そして、その人の言葉を聞いて、助けるという判断をしてよかったですと心から思いました。その人を送った帰り、私は色々な事を考えました。あの人はもう大丈夫かなとか、その後私はあの人が私に言ってくれた言葉について考えていました。何で誰か分からない私に「いい人ですね。」と、言ってくれたのか、少し気になってしまいました。なので、帰った後にお母さんに聞いてみることにしました。

お母さんに聞くと、「それはあなたがそれほどいいことをしたからよ」と、言ってくれました。その言葉を聞いて私は、本当にいいことをしたんだと改めて実感できました。これからは、あの人が言ってくれた言葉をこれから、色々な人から言ってもらえようようにしていきたいと思いました。そして、そのおかげで、少しだけ勇気を出して行動できた自分に自信がわいてくるような気持ちになれました。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年3月6日 No.97

6年生を送る会





いつもそうじを手つだってくれてありがとう。中学校にいてもわすれないからね。げんきでね。

1年 竹内湊真さん

4月にいろいろなことをおしえてくれてありがとう。いろんなことができるようになったよ。これからもがんばってね。

1年 深田十和さん

1年生のおせわもうんどう会のフラッグもかっこいいよ。あいさつうんどう、朝早くからこうもんにきててすごいよ。いいかいもありがとう。中学校でもがんばってね。

2年 川口悠斗さん

あいさつうんどうを大きな声でやってくれてありがとうございました。毎回、その声でやってくれると、学校に来たら元気が出てきます。中学生になってもがんばってください。

2年 田中日彩さん

6年生のみなさん、あいさつ運動の時、元気よくあいさつをしてくれてありがとうございます。ぼくもいつかあいさつ運動の時、元気よくあいさつしようと思います。

3年 トラン ダイキさん

6年生のみなさん、ありがとうございます。わたしはみんなのことをゆうせんできる心やさしい6年生を見て、わたしもまねしたいなと思いました。がんばってください。

3年 横井乃々葉さん

6年生のみなさん、5年生から～1年生をささえてくださってありがとうございます。ぼくたちが楽しく遊べるようにいろいろ教えてくれてありがとうございます。中学生がんばってください。

4年 梅田 樹さん

私は放課に外で遊んでいたら6年生が話しかけてくれて、話をしていたら私に話を合わせてくれて嬉しかったです。これから中学生になる6年生のみなさん、1～5年生のみなさんをささえてくれてありがとうございました。

4年 フラガ ポリアナさん

いつもあそんでくれてありがとうございます。フラッグをわかりやすく教えてくれてありがとうございます。

5年 加賀谷理名さん

今までありがとうございました。委員会のこともていねいに教えてくれたり、スポーツ大会のリレーやフラッグはみんなが協力して作り上げていて私もそんな6年生になりたいなと思いました。中学校でもがんばってください。

5年 村田朱音さん

6年生のみなさん、フラッグやミニコンサート、さらには委員会やクラブなどですてきな姿を見せていただいてありがとうございました。私たち5年生も来年あのような姿でいたいと思いました。中学校に行っても元気でいてください。

5年 山村颯佑さん

3月4日月曜日、「6年生を送る会」を行いました。5年生の児童会役員、5年生が中心になって準備を進めてくれました。会場となった体育館には全員分の心のこもった6年生へのメッセージが掲示され、また、綺麗に飾りつげなされ、温かい雰囲気の中で会が行われました。各学年からは歌やリコーダー、クイズなどの出し物とともに6年生へのメッセージが伝えられました。1年生から5年生までの子どもたちは堂々とした様子で舞台に立ち、それは6年生に、「後は任せてください」と自らの姿で伝えているように感じました。6年生のがんばりが、下級生に伝わり、そんな6年生になりたいという気持ちになっているからこそその今日の姿があるのですね。他学年の歌やリコーダーに合わせて自然に手拍子が聞こえてくるなど、心が温かくなる6年生を送る会となりました。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年3月8日 No.98

1 高浜市児童生徒顕彰表彰

吉浜小学校からは2名が選出されました。例年であれば市主催の表彰式で表彰状等を受け取っていたのですが、インフルエンザの流行期と重なってしまい、児童生徒の表彰式が中止となりました。そこで校内で表彰させていただきました。選考事由は「競技結果」ですが、結果の裏側には二人のこれまでの多大な努力があることが想像できます。それも含めて表彰状を渡しました。本当におめでとうございます。

【文化表彰】

4年 下城 智輝さん
全国珠算学校連盟愛知県支部珠算教護大会
第一部読上暗算競技 優勝

【スポーツ表彰】

6年 藤田 結月さん
The33rd Aichi Figure Skating Competition
3級女子 優勝



6年生今年度登校あと7日!
1～5年生はあと9日!

2 PTA樹木剪定作業

先週土曜日、PTAの新しい取組として、「樹木剪定作業」を行いました。保護者のみなさんとともに子どもたちも力を貸してくれました。



撮影

吉浜小学校の樹木は子どもたちのように元気いっぱい大きく枝葉を伸ばしています。この日はその一部ですが剪定しました。手を入れたところはさっぱりした、まさに「よい感じ」になりました。また、保護者のみなさんと教員が言葉を交わしながらともに作業をするよさも感じました。来年度も計画していきます。新しく始まったばかりのこの活動を盛り立てていきたいと思っています。参加してくださったみなさん、ありがとうございました。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年3月16日 No.99

あいさつ運動

現在、6年生は小学校生活の締めくくりである卒業式に向けて練習を重ねています。

先日行った6年生を送る会では各学年から6年生へのメッセージを準備し会場に掲示（右写真）しました。このメッセージに、「あいさつ運動」について記している子が何人かいました。その中で1年生の子どもたちのメッセージを一部ですが紹介します。



- ◇お世話してくれてありがとう。きゅうしょくのほうそうをありがとう。 **あいさつうんどう**をし
てくれてありがとう。 小川隼人さん
- ◇ **あいさつうんどう**、まいにち大きなこえでいってくれてありがとう。大きなこえでいったらつ
めたいからだからあったかいからだになってうれしいよ。ありがとう。 谷本侑飛さん
- ◇あさ早くからおおきなこえで **あいさつ** してくれてありがとうございました。それであさ、げん
気をもらえます。かっこよかったです。 富田夏音さん
- ◇いつも **あいさつうんどう** やそうじやいろいろなことをいっしょにがんばってくれてうれし
かったです。中学生になってもがんばってね。 吉田那月さん

子どもたちは「あいさつ運動」が火曜日に行われていることをよく知っていて、最近、「今日はあいさつ運動はないのですか？」「今年は（あいさつ運動は）もうないの？」「（あいさつの）お返しがしたかったな」など、話してくれる子がいます。また、あいさつ運動が行われていた時、委員会の子どもたちに交じって一緒に立ってくれた2年生の子どもたちもいました。

そんな中、驚くべきことに、正門に立って元気にあいさつをしている1年生の子どもたちが出てきました。まだまだ寒い日が続いていますが、ほぼ毎日、正門であいさつをしています。ここに至った詳細は分かりませんが、メッセージにあるようにあいさつ運動で、あいさつをしてもらい嬉しかった経験が1年生の子どもたちを動かしている部分があるのではないかと思います。入学当初、6年生に手取り足取りお世話をしてもらっていた1年生が自分たちだけで正門に立っていることを、6年生もきっと嬉しく思っていることでしょう。

6年生が登校するのも本日を除いてあと3日になりました。6年生が確かな足跡を残し、その足跡をたどり、そして、新たな道に足跡を残している後輩が育っていることを大変嬉しく思っています。



花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年3月18日 No.100

引き継がれたバトン



本日1、2時間目に6年生から5年生へバトンを手渡す「継承式」を行いました。
6年生は、呼びかけや歌に込めた気持ちを、自らの態度や歌で示し、それを受けて、5年生は歌や拍手でその気持ちに応えていました。吉浜小学校の最高学年のバトンが受け継がれました。
以下に、教頭お祝いの言葉、在校生、卒業生の言葉を記します。

例年になく桜の開花が早いというたよりが聞こえてきます。

皆さんは、明日、六年間の小学校課程を修了し、卒業を迎えます。今日のうちに伝えます。

ご卒業おめでとうございます

さて、今日は今話題の「ハイキュー!」から、皆さんにお話ししましょう。「ハイキュー!」は青春群像劇の漫画です。主人公日向翔陽がテレビで見た高校バレーの選手「小さな巨人」に憧れてバレーボールを始めます。ちょうど皆さんと同じ年齢の小学六年生のことです。体格に恵まれず、練習環境にも恵まれず、でもひたすらに自分の憧れを追いかけます。その姿を応援したくなりますし、成功してほしいと思えるのです。

ですが、多くの方がこの漫画を好む理由は、それではありません。登場人物の誰もが、自分を見つめ、人と関わり、最善を求め続けているからです。明日、小学校を卒業する皆さんにもそうあってほしいと思います。「ハイキュー！」には、数々の名言があります。その中から皆さんに次の言葉を紹介し、私からのお祝いの言葉にしたいと思います。

何かを始めるのに揺るぎない意志とか 崇高な動機なんてなくていい

成り行きで始めたものが 少しずつ大事なものになっていく

スタートに必要なのは ちょっとの好奇心くらいだよ

皆さんが、中学校で大事なものをみつけ、熱い青春を送ることができるよう、心よりお祈りしています。
教頭 本多みちよ

5年生のみなさん、私たちの背中を押してくれる力強く温かい言葉をありがとうございます。そして今日、この継承式で最高学年のバトンを受け渡すことができ、とても嬉しく思います。

私たちは、新型コロナウイルスの影響が落ち着き、吉浜小学校開校150周年という節目の年に最高学年を迎えました。行事が少なくなり、さみしく感じる年もありましたが、みなさんの協力のもと、制限の中でできる精一杯のことを考え実行してきました。コロナ禍を過ごしたことで、多くの人達に支えられていることに気がつき、今まで以上に当たり前のことに感謝する気持ちを持つことができるようになりました。この気持ちは、決して忘れることのない経験となりました。

私たち6年生は「輝努相楽」を学年目標に、小学校最後の年を過ごしてきました。一人一人が主役として輝く。一生懸命努力する。相手を思いやる。6年生全員が楽しく過ごす。私たちは学年目標の実現を目指して、何事も全力で取り組んできました。そして、「輝努相楽」という目標を大切に思い、達成できたと感じています。

6月のスポーツ大会では、実行委員を中心に一致団結したフラッグ演技を作り上げました。また、クラスの絆を深め、最後まで盛り上がったリレーもとても心に残るものとなりました。ミニコンサートでは、それぞれのクラスが意見を出し合い、何度も練習を重ね、最高のパフォーマンスをひろうることができました。どの行事でも、みんなと協力すること、努力することができ、大きな成長につながることができました。楽しく思い出となった名古屋港水族館の郊外学習。コロナ禍で遠足は、遠方への移動ができなかった私たちにとって、本当に貴重な体験となりました。また奈良京都への修学旅行では、歴史と文化に触れながら、友情をさらに深めることができました。よりよい学校にするために活動した委員会やクラブ活動でも、一人一人が最後までやりぬこうと努力することができました。そのために、様々なことを考え見守りくださった先生方。私たちが日々の学校生活を楽しく送ることができたのは、先生方や地域の方々、在校生そして最高の仲間達の支えがあったからです。本当にありがとうございました。

5年生のみなさん、最高学年のバトンは私たちからみなさんに受け継がれます。頼りになるみなさんがいたからこそ、私たちも成長できました。これからも、吉浜小学校の歴史と伝統を大切に、自ら行動すること、そして仲間を思い協力しあうことで、前へ進んで下さい。新しい未来を切り開いていくことを応援しています。吉浜小学校で過ごした6年間は、思い出の原点となって、心に残り続けます。これからも吉浜小学校で学んだ教えを忘れずに、中学校でも頑張ります。
卒業生代表 6年 濱島 怜

やわらかな春の日差しに包まれて、校庭の草花が芽を吹き始めました。卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。この継承式でのお別れにあたって、みなさんと共に過ごした数々の忘れられない思い出が、今、目の前に浮かんできます。

「運動会」 学級対抗リレー。スムーズなバトンパスから、熱い思いやこれまでの努力が伝わりました。最後まで気持ちを途切れさせず励まし合う、団結した姿がかっこよかったです。

「ミニコンサート」 体育館いっぱい響く歌声。迫力のある六年生らしい姿に圧倒されました。真剣な表情から、「成功させるぞ」という強い気持ちや、仲間と一生懸命に練習したことが伝わりました。努力を積み重ね、みんなの心を一つにするすばらしさを学びました。

「委員会活動」 何も分からなかった私たちに優しく丁寧に教えてくださり、とても心強かったです。また、積極的に新しい意見を出したり、休み時間に仕事に取り組んだりする姿から、学校をよりよくしようという思いが伝わりました。六年生から学んだ周りのために考えて動く心を大切にしていきます。

「フラッグ練習」 「六年生のみなさんの演技にかける思いを、私たちも引き継いでいきたい。」そんな思いをもちつつも、どうすればよいのか分からなかった私たちに、6年生のみなさんは優しく寄り添ってくださいました。教えていただいたことを胸に、運動会へ向けてがんばります。

お互いを信頼し合い、一致団結して何事にも一生懸命に取り組む姿。さまざまなことを率先して考え、成し遂げる姿。私たちはそんな6年生の姿に憧れ、お手本としてきました。私たちも、みなさんのような賢く愛情に溢れた6年生になりたいです。

これからは、6年生のみなさんが築いてきた最高学年としての在り方を受け継ぎ、私たちが吉浜小学校のリーダーとして、在校生を助け、信頼関係で結ばれた固い絆を全校へ広げていきます。そして、今年度のスローガンである「みんなにっこり幸せあふれる吉小」を、私たち在校生みんなが一歩一歩、歩んでいきます。だから、安心して中学校へ行ってください。

卒業生のみなさん、吉浜小学校で学んだことや貴重な経験を大切に、仲間とともに、中学校へ行ってもがんばってください。一人一人の個性を尊重することや、支えてくださった人への感謝の気持ちを忘れずに、新たな道を切り拓いていってください。今までありがとうございました。

在校生代表 5年 杉浦逞十